

素晴らしき放浪者 (1932)

BOUDU SAUVE DES EAUX

BOUDU SAVED FROM DROWNING [米]

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 84分

初公開日 1977/03/26

公開情報 フランス映画社

【キャッチコピー】

生きるも死ぬも自由自在 セーヌの放浪者ブーデュが まきおこす 大パニック！

【解説】

ヌーヴェル・ヴァーグから生まれたどんな映画より自由で伸びやかで、批評する言葉の空しさを痛感させるルノワールの傑作中の傑作。主人公ブデュは気ままな放浪者。けれど、この世はすでに楽しくない。一足飛びにあの世行きを図ってセーヌに身を投げた所、河縁の古本屋の親父に助けられ、英雄とされた彼のその家に居候。持ち前の豪胆さで奥方を寝取るが、旦那の情婦だった女中のアンヌ・マリともネンゴロになり、結婚を決める。が、式の当日、舟で河を往くお披露目の最中、川面に浮かぶ蓮の花に手を伸ばし、舟は転覆。山高帽一つ残し、彼はどこぞへか流れ行き、着いた先の畑の案山子の服を頂戴し、みな心配をよそに、飄々と歩き去って行った。その“水”の官能的な捉え方、怪優シモンのこれまた言語化不能のやさしい獣的な存在感……。言わせて貰えば、50年代後半以降のフランス映画は批評だけ立派で頭でっかち。どうにもこの映画の純粹さに追いつけないように見える。「ビバリーヒルズ・バム」は本作の米版リメイクであった。

【クレジット】

監督	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
原作	ルネ・フォーショワ	René Fauchois
脚本	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
撮影	マルセル・リュシアン	Marcel Lucien
音楽	ヨハン・シュトラウス	Johann Strauss
出演	ミシェル・シモン	Michel Simon
	シャルル・グランヴァル	Charles Granval
	マルセル・エイニア	
	セヴェリーヌ・レルシンスカ	
	ジャン・ダステ	Jean Daste
	マックス・ダルバン	Max Dalban